JAPANESE UTILITY MODEL PUBLICATION (U)

(11) PUBLICATION NO. H03-25343

(43) Publication Date: March 15, 1991

(21) Application Serial No. H01-85411

(22) Filing Date : July 20, 1989

(71) Applicant : KAIJU MASAICHI (海住政市)

(72) Inventor : KAIJU (海住)

(54) Title of the Invention : CASE FOR VEHICLE SEAT

A case 1 for vehicle seat is placed on a vehicle seat 5 and receives goods therein. The case 1 has lock claws 2A to 2C for seat belt at a front side of outer wall thereof. A seat belt 3 is wound around the case 1 and detachably engaged to the lock claws 2A to 2C. The case 1 also has a hanging ring 8 at the outer wall thereof. The hanging ring 8 is hung on a headrest portion 9 and detachably engaged to the headrest portion 9.

⑩ 日本国特許庁(JP)

② 公開実用新案公報(U) 平3-25343

®Int. Cl. 5

識別記号

庁内整理番号

❸公開 平成3年(1991)3月15日

B 60 R 7/04

S 7149-3D

審査請求 有 請求項の数 4 (全3頁)

会考案の名称 自動車座席用容器

②実 願 平1-85411

②出 願 平1(1989)7月20日

⑩考案者 海住

政市

三重県一志郡美杉村下多気638番地

⑪出願人海住 政市

三重県一志郡美杉村下多気638番地

四代 理 人 弁理士 岡 賢美

の実用新案登録請求の範囲

- (1) 自動車座席に載せて物品を収納する容器本体の前部外壁に、鉤状のシートベルト用係止爪を形成し、該容器本体のシートベルトを巻き掛けると共に、該係止爪にシートベルトを着脱自在に係止する係止手段を設けた構造を特徴とする自動車座席用容器。
- (2) 自動車座席に載せて物品を収納する容器本体の周壁の上縁または側縁に、少なくとも一対の 鉤状掛止片を形成し、該鉤状掛止片を座席の 「背もたれ部」に着脱自在に掛け止め係止する 係止手段を設けた構造を特徴とする自動車座席 用容器。
- (3) 自動車座席に載せて物品を収納する容器本体の周壁に、掛止環を形成し、該掛止環を該座席のヘッドレスト部に巻き掛けて着脱自在に係止する係止手段を設けた構造を特徴とする自動車座席用容器。
- (4) 方形に枠囲いする四個の側板の底板とを、重ね合せて折りたたみ自在に形成した容器本体か

らなる実用新案登録請求の範囲第(1)項と第(3)項 記載の自動車座席用容器。

図面の簡単な説明

第1図:本考案第一実施例の容器を示し、Aはその斜視図、Bはその使用状態の斜視図、第2図:本考案第二実施例を容器を示し、Aはその斜視図、Bはその使用状態の斜視図、第3図:本考案第三実施例の容器を示し、Aはその斜視図、Bはその使用状態の斜視図、第4図:本考案第四実施例の容器を示し、Aはその斜視図、B, Cはその使用状態の斜視図、第5図:本考案第五実施例の容器を示し、Aはその斜視図、B, C, Dはその折りたたみ状態と折りたたみ手順を示す平面図、第6図:本考案の他の実施例の斜視図。

主な符号、1……容器ほ対、2A~2C……係止爪、3……シートベルト、5……座席、6……背もたれ部、7A,7B……掛止片、8……掛止環、9……ヘッドレスト部、10A~10D……側板、11……底板、12……蝶番、13……連結ビン、14……握り棒。



